



栃木県の経済情勢報告

令和3年8月3日

財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301 (直通)

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」

項 目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	➡

（注）令和3年7月判断は、前回4月判断以降、足下（7月末）の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。生産活動は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりつつあるものの、弱い動きとなっている。

【各項目の判断】

項 目	前回（3年4月判断）	今回（3年7月判断）	前回比較
個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている	➡
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
雇用情勢	下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡
設備投資	2年度は増加見込みとなっている	3年度は減少見込みとなっている	➡
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	3年度は減益見込みとなっている	➡
企業の景況感	「下降」超となっている	「下降」超となっている	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	➡
公共事業	前年を下回っている	前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、感染の動向等が地域経済に与える影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費

「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている」

ドラッグストア販売額やホームセンター販売額が前年を下回っているものの、百貨店・スーパー販売額や家電大型専門店販売額、乗用車新車登録届出台数などが前年を上回っている。また、宿泊や飲食サービスについては、引

き続き弱含んでいる。このように、個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しの動きが続いている。

(主なヒアリング結果)

- 前々年と比較すると、80～90%の売上となっているものの、前年と比較すると売上高は増加している。(百貨店、中小企業)
- 売上高は引き続き好調に推移しており、特に最近ではエアコンが売れているほか、テレワーク需要によりパソコン関連も好調となっている。(家電量販店、中小企業)
- 半導体不足による生産遅延が影響し、納車までの期間が長くなっているものの、受注は好調である。(自動車販売店、中小企業)
- 半数が東京や埼玉からの宿泊客であるため、首都圏の緊急事態宣言等延長により、6月にはキャンセルも多かった。現在の宿泊者数は、例年の6割程度となっている。(宿泊、中小企業)

■ 生産活動 「一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

鉱工業生産指数を業種別にみると、輸送機械や金属製品などが低下しているが、生産用機械や電気機械などは上昇しているなど、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

- 現在の生産は、新型コロナウイルス感染症拡大前まで回復しているが、半導体不足により、一部製品の受注が減少している。(輸送機械、中堅企業)
- 国内外での需要が増加傾向となっており、海外では特にヨーロッパの需要が回復している。(生産用機械、大企業)
- 夏場に販売数が増加するため、4～6月は生産量を増やしている。また、前年同期と比較した生産量も増加。(電気機械、大企業)

■ 雇用情勢 「下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

雇用情勢は、有効求人倍率が下げ止まりつつあるものの、感染症の影響により、依然として弱い動きとなっている。

- 現在フル生産体制となっているものの、受注に追いつかず、人手不足の状況となっているため、期間職員の採用等により、当面の人手不足の解消を図っている。(業務用機械、中堅企業)
- 週末以外休業していたため、令和3年春の新規採用を控えた。(宿泊、中堅企業)

■ 設備投資 「3年度は減少見込みとなっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4～6月期

- 3年度の設備投資計画額をみると、製造業では前年比0.9%の増加見込み、非製造業では同7.9%の減少見込みとなっており、全産業では同3.8%の減少見込みとなっている。

■ 企業収益 「3年度は減益見込みとなっている」 (全規模) 「法人企業景気予測調査」3年4～6月期

- 3年度の経常利益(除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」)をみると、製造業では前年比9.6%の減益見込み、非製造業では同0.2%の減益見込みとなっており、全体では同4.6%の減益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となっている」 (全規模・全産業) 「法人企業景気予測調査」3年4～6月期

- 企業の景況判断BSIを現状判断についてみると、全規模・全産業で「下降」超となっている。なお、先行きについて、全規模・全産業でみると、3年7～9月期に「下降」超幅が拡大し、10～12月期に「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回っている」

- 新設住宅着工戸数をみると、分譲住宅は前年を上回っているものの、持家、貸家は前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

- 年始は契約件数が増加傾向となるため、1～3月と比較すると4～6月は件数が少なくなっているが、例年と同様に推移している。(不動産、大企業)

■ 公共事業 「前年を下回っている」

- 前払金保証請負金額をみると、国、県、市町いずれも前年を下回っており、全体として前年を下回っている。

■ 企業倒産 「件数は前年を下回っているものの、金額は前年を上回っている」



栃木県の経済情勢報告

資 料 編

令和3年8月3日

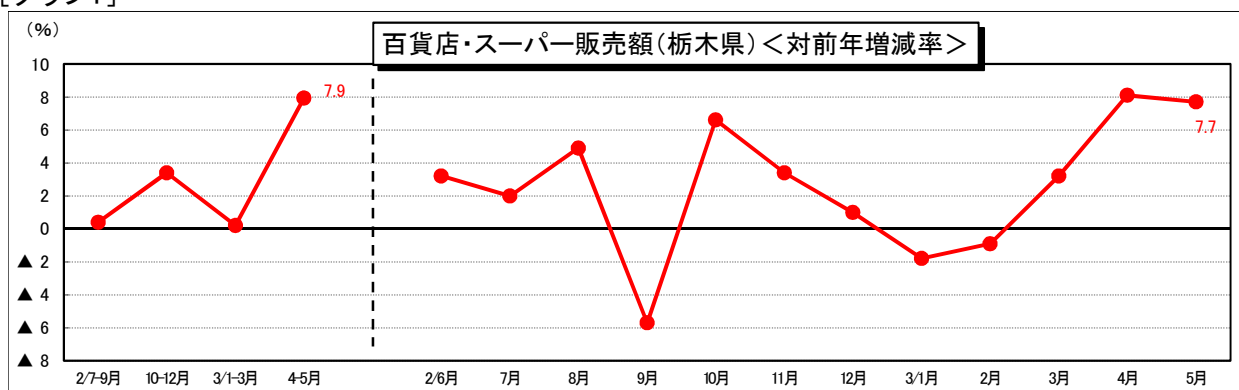
財務省関東財務局
宇都宮財務事務所

お問い合わせ先
宇都宮財務事務所 財務課
電話番号 028-346-6301（直通）

1. 個人消費

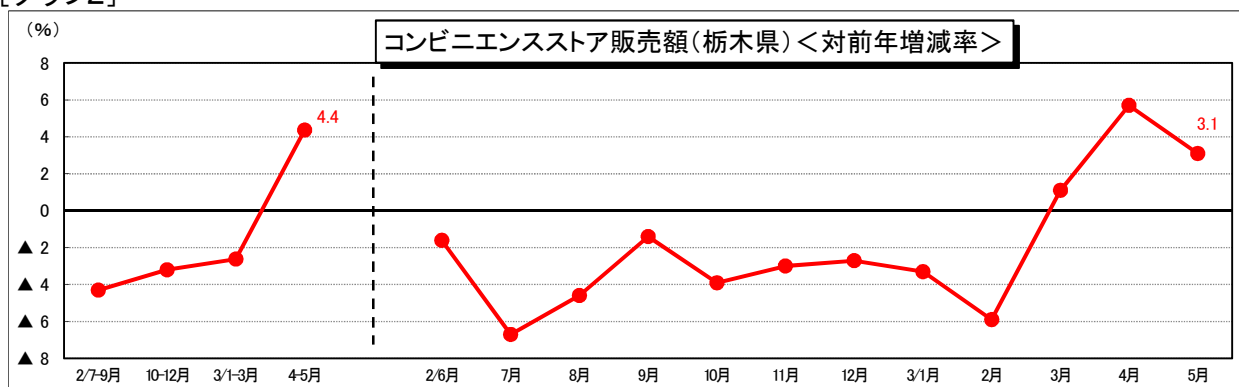
新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、
緩やかな持ち直しの動きが続いている

[グラフ1]



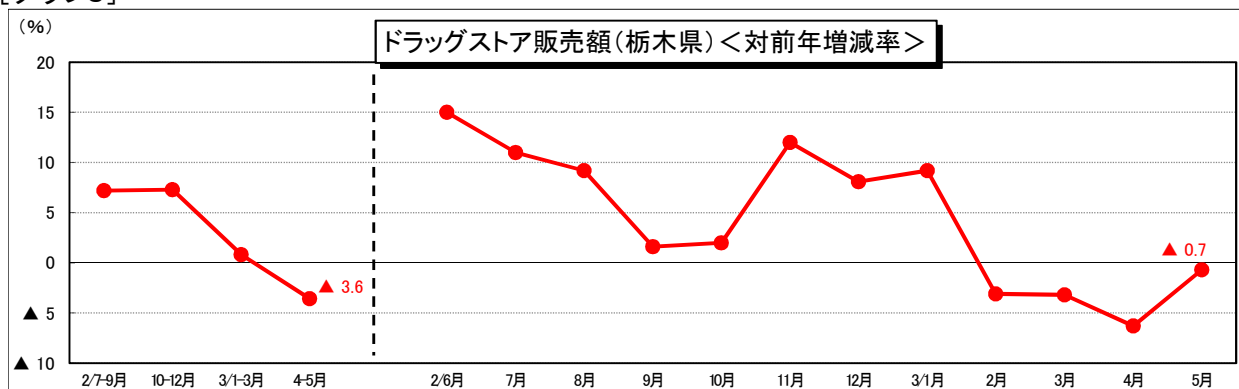
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ2]



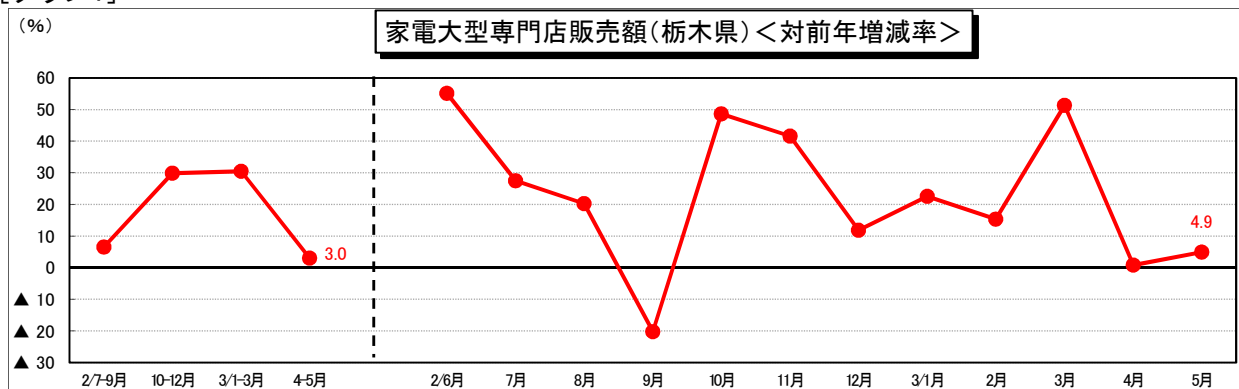
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ3]



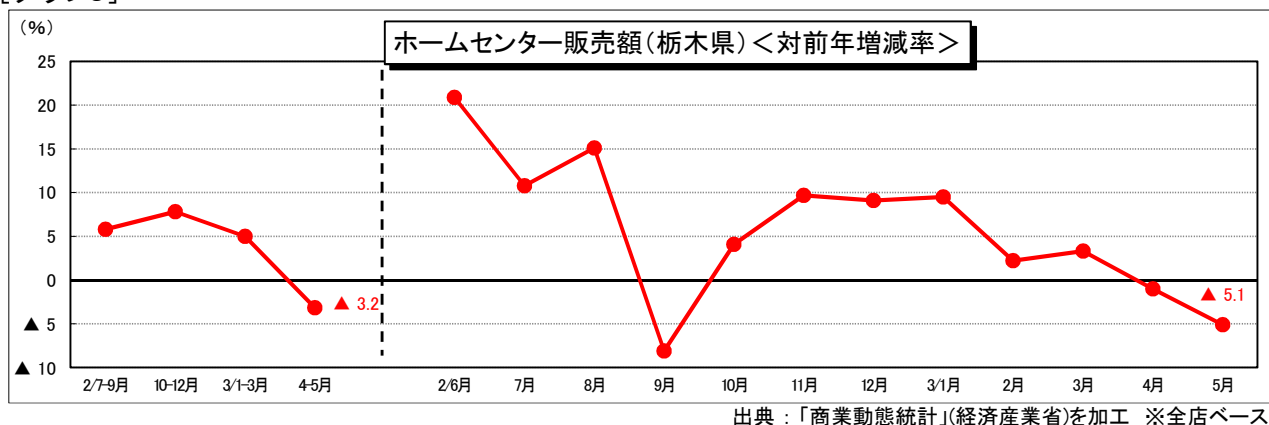
出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ4]

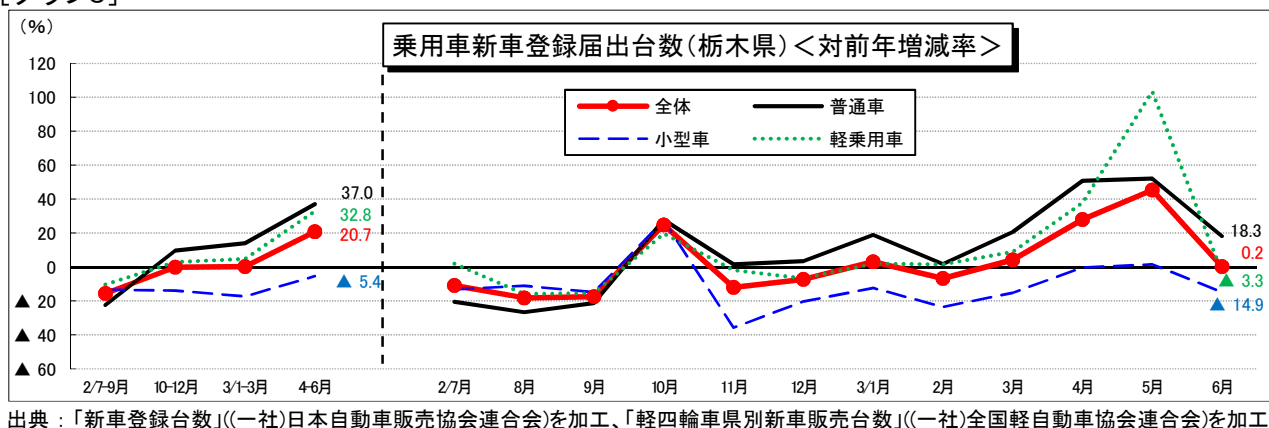


出典：「商業動態統計」(経済産業省)を加工 ※全店ベース

[グラフ5]



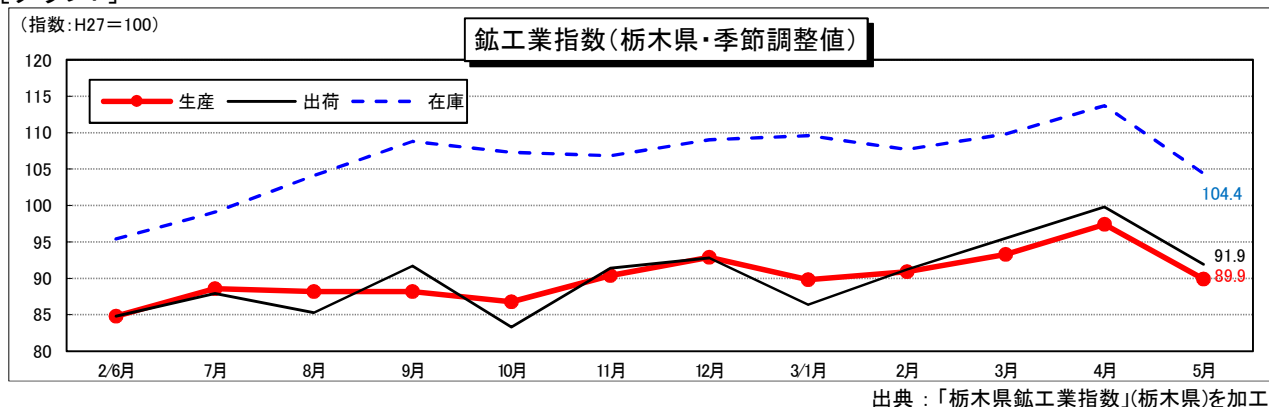
[グラフ6]



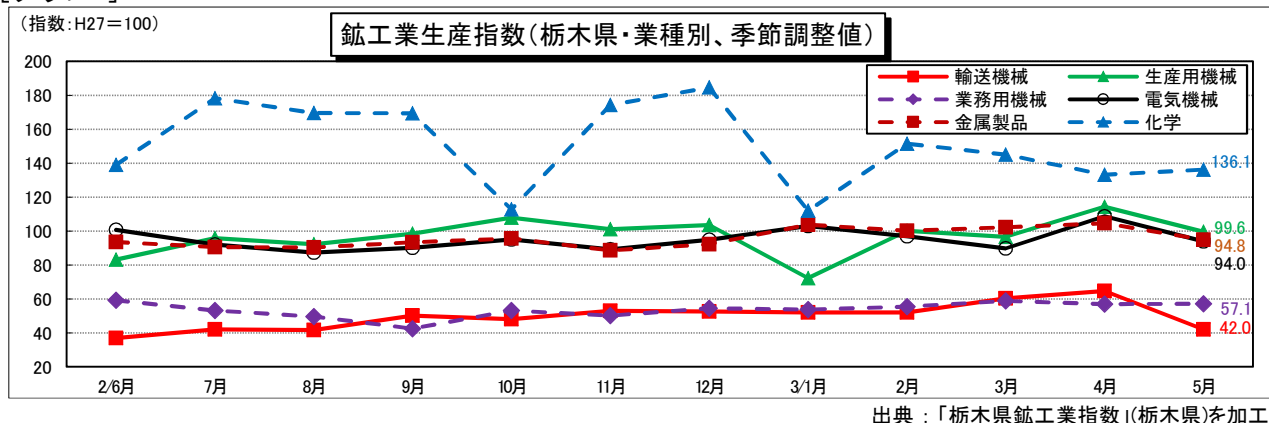
2. 生産活動

一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある

[グラフ7]



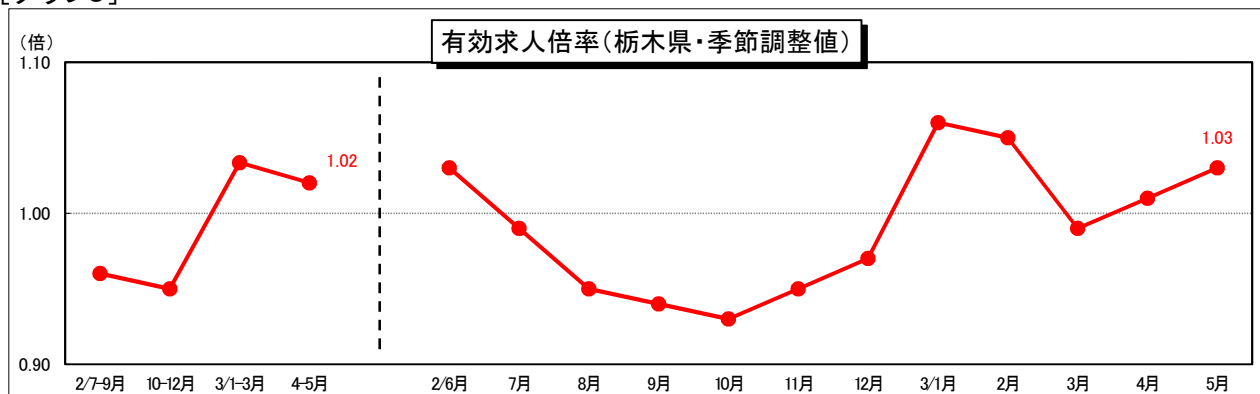
[グラフ8]



3. 雇用情勢

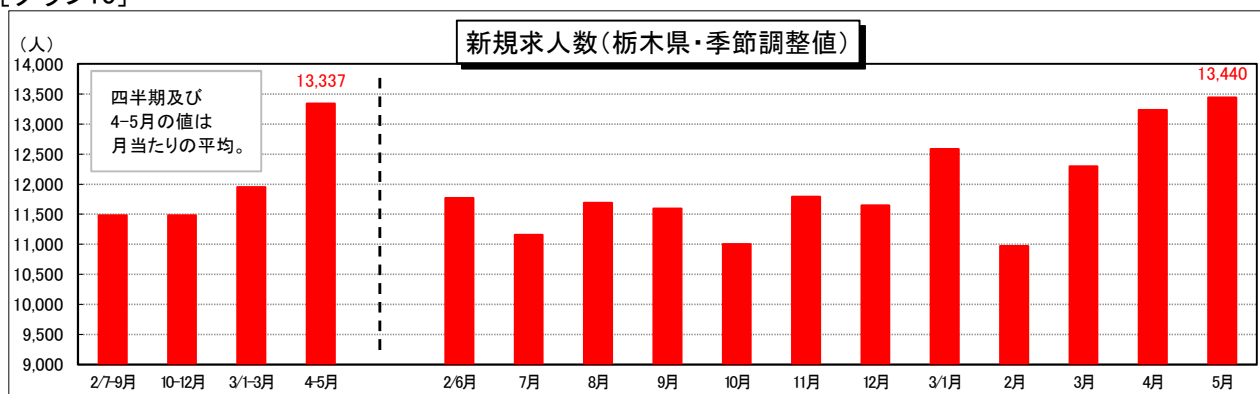
下げ止まりつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている

[グラフ9]



出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規卒卒者を除きパートタイムを含む

[グラフ10]

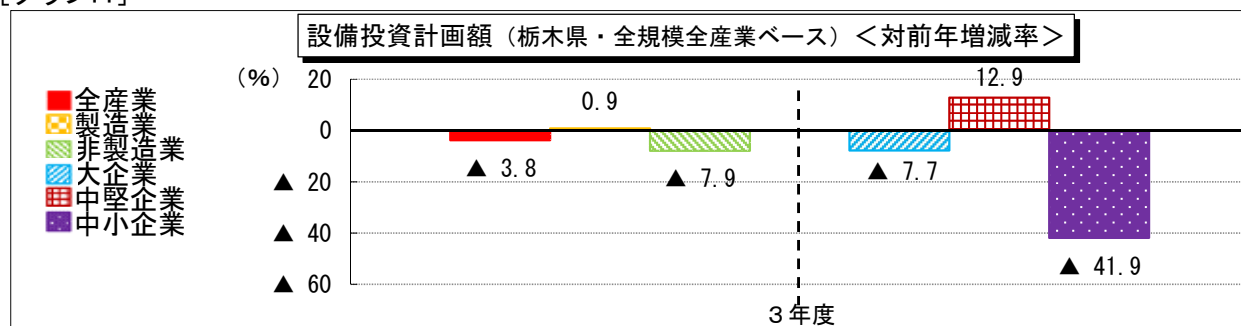


出典：「一般職業紹介状況(職業安定業務統計)」(厚生労働省)を加工 ※新規卒卒者を除きパートタイムを含む

4. 設備投資

3年度は減少見込みとなっている

[グラフ11]

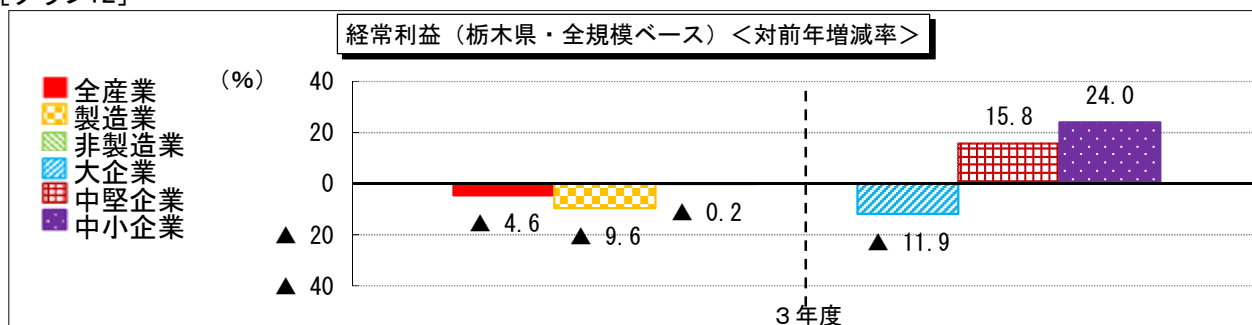


出典：「法人企業景気予測調査(令和3年4~6月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

5. 企業収益

3年度は減益見込みとなっている

[グラフ12]



出典：「法人企業景気予測調査(令和3年4~6月期)栃木県分」(宇都宮財務事務所)

「下降」超となっている

(%ポイント)

企業の景況判断BSI(栃木県・全規模全産業ベース)
＜前期比「上昇」-「下降」社数構成比＞

上昇
下降

▲ 20
▲ 40
▲ 60
▲ 80

全規模・全産業 大企業 中堅企業 中小企業

23 24 25 26 27 28 29 30 31/元 2 3

現状

(年度)

前年を下回っている

新設住宅着工戸数(栃木県)＜対前年増減率＞

時期	総戸数 (%)	持家 (%)	貸家 (%)	分譲 (%)
2/7-9月	13.9	13.9	1.9	2.4
10-12月	4.9	4.9	1.9	2.4
3/1-3月	13.9	13.9	1.9	2.4
4-5月	13.9	13.9	1.9	2.4
2/6月	13.0	13.0	1.0	18.2
7月	13.0	13.0	1.0	18.2
8月	13.0	13.0	1.0	18.2
9月	13.0	13.0	1.0	18.2
10月	13.0	13.0	1.0	18.2
11月	13.0	13.0	1.0	18.2
12月	13.0	13.0	1.0	18.2
3/1月	13.0	13.0	1.0	18.2
2月	13.0	13.0	1.0	18.2
3月	13.0	13.0	1.0	18.2
4月	13.0	13.0	1.0	18.2
5月	13.0	13.0	1.0	18.2

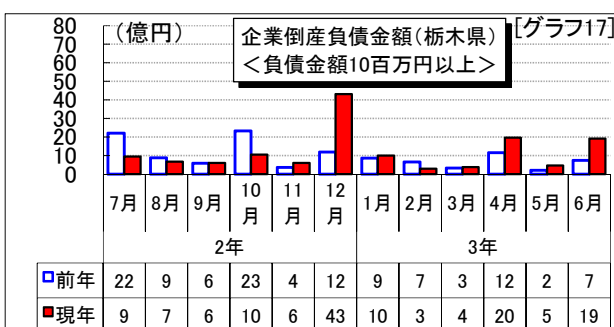
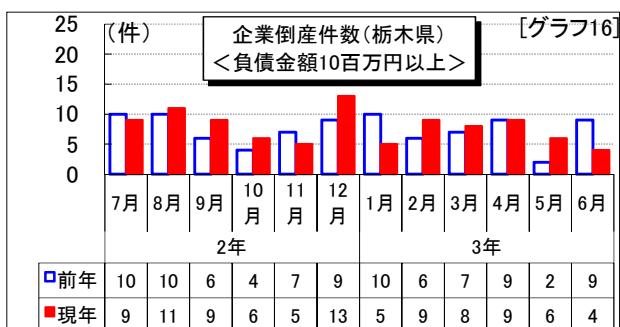
前年を下回っている

前払金保証請負金額(兵庫県)＜対前年増減率＞

全体 (Red solid line with circles)
 国 (Black solid line)
 県 (Blue dashed line)
 市町 (Green dotted line)

期間	全体 (%)	国 (%)	県 (%)	市町 (%)
2/7-9月	0	160	0	-20
10-12月	-10	-10	-10	-10
3/1-3月	-10	-10	-10	-10
4-6月	-10	-10	-10	-10
2/7月	0	100	-10	-10
8月	-20	220	40	-40
9月	40	220	40	20
10月	10	-10	10	10
11月	-10	-40	120	-10
12月	-20	100	0	-10
3/1月	-10	-40	0	-10
2月	-40	-60	0	-10
3月	20	10	0	10
4月	-20	-20	-20	-20
5月	40	40	0	160
6月	10	10	0	10
4月 (2018)	11.3	18.3	35.0	21.8

件数は前年を下回っているものの、金額は前年を上回っている



4